

佐伯山の会

まど

323号



2016

July

7月

目次

contents

■ 山行案内

- ・ タキガ谷遡行 3
- ・ 宮島海岸線を歩く <宮島 1 周> 3
- ・ 鳳凰三山 4
- ・ 沢登り入門 初級 5
- ・ 火打山～妙高山小屋泊縦走 6
- ・ 「桂離宮」参観 & 「芦生の森」紅葉観賞 6

■ 山行報告

- ・ 雨中の猿政山 クリーンハイク 7
- ・ 烏帽子岩山・クリーン・クライミング 8
- ・ 大山夏山開き祭 9
- ・ 廿日市市境界① 大峰山 交差縦走 11
- ・ ゆるハイク” 始めました！ 14
 - 第 1 回 「篁山」と三景園
- ・ 里山ロングトレイルのすすめ 16
 - 第 1 回 八世以山～呉娑々宇山～岩滝山

- バリエーション通信 17
- 定例集会 議事録 18
- 第3回運営委員会議事録 19
- 行事予定 20



7月バリエーション例会山行

タキガ谷遡行

- 【期 日】7月31日(日) 【山 域】吉和冠山(廿日市市吉和)
 【集合場所】JR 宮内串戸駅 【集合時間】7時30分
 【交通手段】自家用車 【参加費用】会規約実費
 【行 程】宮内串戸駅 7:30~8:30 一軒家バス停…タキガ谷(林道) 終点 9:30…中の谷水源 12:30
 …13:00 冠山 13:30…中の谷水源 14:00…タキガ谷林道 15:00…16:00 一軒家バス停~(羅漢温泉)
 ~18:00 串戸
 【装 備】クライミング装備1式、沢靴、昼食、飲料水、非常食、雨具、地図、コンパス、ヘッドランプ、入浴グッズ・着替え、その他沢登りとヤブコギに適した服装・装備
 【地 図】1/25,000 安芸冠山【リーダー】CL 安達
 【申 込 先】

【申込期限】7月24日(日)まで【参加条件】新特別基金5口以上、ロープワークができる人
 【山行の呼びかけ】タキガ谷にある二つの階段状の滝をシャワークライミングします。登はん後は、ワサビ田跡・水源碑を經由して吉和冠山頂上で昼食、下りはタキガ谷北側もしくは南側の尾根筋をヤブコギでタキガ谷林道へと周回する予定です。

8月定例山行

宮島海岸線を歩く <宮島1周>

- 【期日】8月28日(日)【山域】宮島
 【集合場所】宮島栈橋【集合時間】(未確定)
 【交通手段】一部タクシー【参加費用】交通費分担

宮島西南海岸線は、青海苔海岸から先は道はありません。砂浜を歩いたり、干潟歩き、岩場を越え、たまには海の中を歩いたり……。野性味溢れるトレッキングとなります。宮島七福神にも出会えます。干潮時間は12時半なので条件は良いですよ。時間と安全面を配慮し、行程を現在考え中。参加しやすくするため日帰り行程で検討しています。詳細は追って。

厳島(宮島)全島図



9月例会山行

鳳凰三山

(2016 広島県連フリー登山バス)

【期 日】 9月16日(金)～20日(火)

【山 域】 南アルプス

【集合場所】 JR 広島駅新幹線口前

【集合時間】 7時10分

【交通手段】 広島県連フリー登山バス

【参加費用】 60,000円程度

【行 程】

- 9月16日(金) JR 広島駅新幹線口前(7:30)→間所 IC→山陽道→名神→中央→葦崎 IC(15:40)→芦安温泉(16:30)→タクシー→夜叉神の森(17:30) TEL0552-88-2043 9月17日(土) 夜叉神の森(夜叉神峠登山口)(6:00)→夜叉神峠(7:00)～杖立峠(9:00)～葦平(11:00)～南御室小屋(昼食)(11:30=12:00)～薬師岳小屋 13:30(2割増 14:54) TEL0551-22-6682
- 9月18日(日) 薬師岳小屋(5:00)～薬師岳(5:05)～観音岳(5:45)～地藏岳(7:05)～鳳凰小屋(7:45)～青木鉱泉(昼食)(11:15=11:45)～青木鉱泉(2割増 13:24) TEL0422-51-2313
- 9月19日(日) 青木鉱泉(5:00)～御所山(7:30)～大西峰(9:00)～奥甘利山(10:00)～広河原(昼食)(11:30=12:00)～桃池(13:30)～栗平(14:10)～湯橋(14:40)～甘利山入口(14:50)→タクシー(2割増 16:40)→葦崎市内(入浴・食事後乗車)(18:40)→葦崎 IC(19:00)→中央→名神→山陽道→間所 IC→ JR 広島駅新幹線口前(6:00)→廿日市交通(7:00)

*注意 コースタイムはエリアマップによるもので、休憩時間等を入れると2割程度は増えるものと思われる。

【地 図】 山と高原地図「甲斐駒・北岳」

【リーダー】

【参加者名】

【山行の呼びかけ】 今回のコースは、芦安温泉～夜叉神峠登山口～薬師岳小屋～薬師岳～観音岳～地藏岳～鳳凰山～青木鉱泉と抜群の展望を楽しむ南アルプスの入門コースの鳳凰三山を歩き、最終日は御所山～大西峰～奥甘利山と葦崎市まで歩きます。



教育登山講座Ⅴ

沢登り入門 初級

夏

下界の暑さから抜けだし天然のフィールドアスレチック、澄んだ水と流れ、滝の飛沫を浴びて清涼感あふれる沢歩きを楽しみましょう。

実践コース

- 【山域】鬼が城山 小瀬川支流赤滑川（通称 赤ナメラ谷） 【日 時】8月7日（日）
 【集合場所】JR宮内串戸駅前 【集合時間】8：00
 【交通手段】自家用車 【参加費用】自家用使用会規定
 【行程】（ゆっくり楽しみながら遊びながら遡行します。）

宮内串戸 8：10～9：00 スパ羅漢（道の駅）装備準備…9：30 赤ナメラ入溪…11：00

二股分岐近辺昼食 12：00…12：30 林道出合（下山準備）13：00…14：00 スパ羅漢

直帰組 風呂組分れ解散～（15：00、16：00）宮内串戸

【専用装備】

- * 沢靴（登山具専門店）or 溪流足袋（釣具店）
- * ソックス（ハイキング用で可ですが溪流足袋は先割れしてるので注意）
- * ヘルメット（バイク、工事用とも可）
- * ハーネス、スリング、カラビナ（無い方連絡ください）
- * スパッツ 下肢の保護 保温（山店に沢専用有りますが必ずしも必要なし）
- * 手袋（山店に沢専用有りますが軍手指先カット物でOK）
- * 服装（山店に沢専用のものがありますが）化繊系速乾性のあるパンツ、長袖シャツでOK
- * 下山用登山靴 着替え（タオル）
- * 防水袋（山店に色々ありますがビニールゴミ袋等でも可）

【一般装備】昼食、飲料水、非常食、地図（宇佐郷）、コンパス、ヘッドランプ（風呂セット）

* 赤い滑床と小滝が続く初心者むけの明るい沢です、初めての方はぜひ挑戦してみてください。

【申し込み先】

【申し込み期限】7月30日

※専用装備等ありますので不明点あれば問い合わせください。



個人山行 同行者募集！！その①

火打山 (2462m) ～ 妙高山 (2446m) 小屋泊縦走

自家用車利用でメンバー男女各 2 名の個人山行の計画（花咲く湿原を巡って妙高連峰を縦走）を立て宿も確保しましたが、現在残念ながら女性 1 名が欠員のため同行者の補充募集をします。（小雨決行です。登山できない場合は、周辺高原の散策などや観光に切り替えます。）

ただし、申込期限までに複数の参加希望者がいた場合は、①勤労者②運転技量（年令を含む）③申込順などの条件を考慮して決定したいと思います。

【行程の概要】

- ・ 8 月 14 日（日）広島～山陽～名神～中央～長野 杉野沢温泉・アルファイン秀雲荘（泊）
※時間があれば、行く途中に斑尾高原（沼の原湿原）の散策
- ・ 8 月 15 日（月）笹ヶ峰登山口～高谷池ヒュッテ～火打山～高谷池ヒュッテ（泊）
- ・ 8 月 16 日（火）高谷池ヒュッテ～妙高山～笹ヶ峰登山口（杉野沢温泉入浴） ゲストハウス小布施（泊）※時間があれば、帰る途中に志賀高原（自然探勝コース）の散策
- ・ 8 月 17 日（水）北斎館・岩松院訪問後、帰広

【募集人員】 1 名

【参加予定者】

【申込先】

【申込期限】 7 月 18 日(月) まで

同行者募集！！その②

「桂離宮」参観 & 「芦生の森」紅葉観賞

私がかねてから行きたかった「桂離宮」参観と「芦生の森」紅葉観賞をコラボして自家用車利用の個人山行を 11 月の平日に計画しました。（それぞれがどういうところかということはお手数ですが各自で調べてください。それぞれが知人ぞ知人という建築物や場所です。）いずれも事前の申し込みに氏名・住所が必要なので早めに同行者を募集します。

11 月平日の 1 泊 2 日

【行程の概要】※日程は、桂離宮の参観許可、芦生の森のハイキング許可、山の家の予約が可能で参加者 4 名の都合が付く平日の 2 日間とします。

- ・ 11 月 α 日（平日）広島～山陽～名神～京都 「桂離宮」参観 芦生の森山の家（泊）
- ・ 11 月 $\alpha+1$ 日（平日）「芦生の森（道標なし、長靴 or 沢足袋必要）」紅葉観賞後、帰広（深夜着）

【募集人員】 3 名（「桂離宮」参観は同一時間 4 名限定のため）

【参加要件】 ①読図能力がある人②運転技量がある人③古建築・庭園に魅力を感じる人④申込順

【申込先】 その①に同じ

【申込期限】 7 月 31 日(日) まで

山行報告

雨中の猿政山 クリーンハイク



6月12日

【参加者】

最 近雨の山を歩いたことがあるかい？
猿政山へ、登山道でゴミを拾うクリーンハイクを実施。労山自然保護憲章「登山活動を通して、自然を見る目をやしない、自然の変化をとらえ、山と地球規模の環境保全に寄与します…(以下略)」山からゴミを一掃しようと意気込む、中学生を含め8名が奥出雲へ繰り出す。「可部屋集成館」駐車場へ車を停め、今にも泣き出しそうな空の下、延々とした林道歩きからスタート。この林道にはゴミはなく、代わりにヤマボウシ、エゴノキ、ツルアジサイ、ドクダミの花を見る。白い花が目立つこの季節、紫から白への色の変化。マタタビの葉もしっかり半化粧。ヘビイチゴ、クサイチゴ、桑の実をいただく。山椒の実もいい具合に成っている。6月の山を実感する。クスサンの幼虫(シラガタロウ)が大量発生。

毒毛虫ではないので、触ってみればよかった。2時間少し歩けば林道終点で、ここからが猿政山の登山口。

落ち始めた雨、休憩の後、山行の進退を協議する。困難は乗り越えるのみ。前へ進むだけだ。急登に息が上がる。稜線に出ると比較的若いブナも残っていて雰囲気良し。大粒の雨が合羽を濡らし、登山道はグズグズの状態。急坂を岩と草とお助けのトラロープを持って登る。落石の音と後では女性の悲鳴が聞こえる。だけどどれも楽しいことだ。フカフカした倒木にミヤマクワガタを捕まえる。そして道の脇には、何気に実をつけたサンカヨウが何束もある。

何も調べずに臨んだ猿政山は、なかなか苦難の道である。登山口から1時間少し、ようやく頂上手前の平坦な道に出る。オオヤマレ



ンゲが一株、つぼみから咲きかけの花を数輪つけている。オオバギボウシの花芽も伸びてきている。季節は初夏から夏に動いている事を知る。13時前、展望のない猿政山山頂1

268mに到着する。変わらず雨は降り続けている。適当に座り込んで昼を食う。ここで清掃活動。以前と違ってマナーが改善され、ゴミは減る。今日は空缶数缶、林業用資材(テープ等)少々、飴の包紙など・・・

30分後下山開始。雨は変わらず降り続く。ガスって展望のない中、滑らないように歩く。登りで苦労した急勾配の登山道を今度は下る。ズルズルのスケート場になっている。こけない方が不思議だ。気持ちを集中させて下る。悪戦苦闘の40分間が経過、分岐を2度も見逃しながら、登山口に戻る。ここからはさらに長い林道歩き。ガラガラと何も見ずに歩く。靴に水が入り戦闘意識がさらに低下。本降りになる。15時半ようやく駐車場に戻り、衣服をそっくり着替えて車中の人となる。ゴミの収穫は少なかったが、梅雨の雨中山行もなかなかオツなものであった。

鳥帽子岩山・クリーン・クライミング

6月4日(土)

【参加者】



岳チンネ左稜線登攀のマルチピッチのトレーニングとクリーンハイクをミックスして実施。3組に分かれて黒ナメラ岩でそれぞれの課題、ルートに取り付いてクライミング。梅雨の気配も感じられる湿っぽい大気。昼前にはクライミングは終了して清掃活動に入る。



岩場周辺は落とし物らしい商品タグなどの不燃物が多少散らかっているくらいで、ゲレンデの基部は細かなガラス片や不燃物、細引きの欠片などだった。集めてもスーパーレジ袋に半分程度。昼食もほどほどに下山。登山道沿いの投げ捨てられたビン・缶類を拾い集めると袋いっぱいになっていた。墓場駐車場広場周辺で集めたゴミと合わせると3.5kgほどだろうか。暑さを避けて正午過ぎJR利

用組は12時40分台の列車に乗って帰宅した。

ちなみに広島駅2番ホームから快速電車（新型車両★レッドウイング）に乗ると五日市駅まで直行、次の停車駅は宮内串戸。とっても便利になりました。当日たまたま隣はカーブ電車。11連勝独走ですが・・・9月頃には・・・。

大山夏山開き祭 参加



6月4日（土）5日（日）に行われる大山夏山開き祭、4日の前夜祭には大神山神社奥宮から流れるたった1日だけの“炎の河”。神秘的で美しい光が流れ下って行きます。

テレビで観る迫力とは違い 小雨降る闇の中で 足が滑らないように気を付けながらの下りでしたが、下りきってから振り返ってみたら確かに流れている。美しい炎の河の一部分になれたこと、で聞いた“大山太鼓”の

勇壮な響きは 多くの感動と共に忘れられない思い出として残っていくのでしょう。

6月4日 （孝霊山 751.3m）

串戸を7時過ぎに出て松江道を走り、淀江から鉄塔が何本か建っている先の山が孝霊山かなと言いながら走る。梨畑の奥に登山口があり 11:00に出発すると山側はゼンマイ、谷側はワラビの群生地がずっと続き、来



グの道に疲れたころササユリが目にとまり、
 清楚な花を数えながら上がって行ったら8輪
 目で古いコンクリートの台座のある頂上に着
 いた。目の前に大山北壁、東に日本海、北西
 に雄大な弓ヶ浜が電波塔の向こうに広がっ
 ているが、大山頂上から見るより広がりを感じ
 る。ゆっくり食事をして13:40名残を惜
 しみながら出発し林道へ出て、無線中継所の
 アンテナ群のあるピークまで上がったが、建
 物ばかりで見晴らしはもう一つ。南側から孝
 霊山と大山の並んだ姿が見える。

今夜は素泊まりなのでビールと食料を仕入
 れ、16:30大山ゲストハウス寿庵に到着。
 ビールで乾杯し腹ごしらえをして、小雨の中
 1000円のカップを着込んでいざ奥宮へ・・・
 たくさんの人が奥宮に向かって上がって行っ
 ている。カメラの脚立がたくさん道の脇に並
 んでその時を待っている。奥宮に着いたとき
 はもうたくさんの人でしたが、時計回りに奥
 宮を巻いて順番を待っているのがわからず、
 19:50やっと点火して流れの一部となり
 20:30下山。僧兵太鼓に聞き入る。

6月5日(大山 1729.0m)

昨夜は忙しかったので個別食だったが 今
 朝は美味しい味噌汁を作って朝食をすませる。
 寿庵は材料だけ持ち込めば調理用具・食器な
 ど貸してもらえるのでうれしい。

8:00榊水の谷登山口に車を止めて上り
 だす。沢が良く見える所まで上がってそこか
 らそのまま上がるが崩れそうでとても大変な



ので上りかけてやめる。往復20分ではあつ
 たが体力を消費したと思う。50mくらい下
 ったところに、登山口がありロープも下がっ

ているので急登ではあるが木を持ちながら上がっていくと開けたところに出た。右側は崩れて崖になっている。左側は草原・低木があり、道はその端っこに出来ている。崩れた所にはダイセンクワガタ・オキナグサなど、草原のほうにはレンゲツツジ・アカモノ・コバノイワカガミなどが迎えてくれる。崩れた崖を痛々しく思い、緑の草原に胸をときめかせながら結構ハードな急登を稼いで、11:15 大山頂上上がり、ちょっと早い食事をする。雲が流れ昨夜の大山太鼓のステージがま〜る

く切り取ったように見えてきた。もうすぐ晴れるだろう。12:16 石室から榊水高原に向かって下りることにしたが、大変な急登を下りことになる。もうすぐギボウシの花が咲くようだがこれは綺麗だろうと想像しながら下り、スキー場近くでワラビを採りながら下って林道を歩いて、14:40 駐車場到着。

大山から下りたら定番という“岸本温泉”で汗を流し一路、串戸へ。

地域研究③ 廿日市市と佐伯区の境界線を歩く

大峰山 交差縦走

笹ヶ峠から

【日 時】6月26日(日)

【参加者】

【コースタイム】笹ヶ峠[787m] (9:00) …アジサイ群生地 (9:30) …尾根 (9:50) …展望岩場 (9:53~10:05) …大峯山東峰[1050m] (10:12~30) …大峯二等三角点[1040m] (10:36) …大峯山西峰[1010m] 昼食 (11:20=12:05) …大谷峠[710m] (13:12)

行程記録(笹ヶ峠登坂組)

今回は、下山地点が異なるため大峯山東峰～大峯山西峰交差縦走を計画した。整備されているが離合困難な狭い県道42号線を2台の車に分車。笹ヶ峠までは併進し、我々は笹ヶ峠に車を止め大谷峠組は先を目指す。廿日市市の標識と佐伯区の標識のある笹ヶ峠地点(787m)から大峯に登る。9時出発 登山口に赤いテープがあり見るからに藪漕ぎだと構えたがなんとクマザサも少なく歩きやすいスタートだ。所々にテープもある。30分くらい歩くと山アジサイ群落に出会う。ここからは直登だ。20分で一般登山道にでた。大峯山山頂に行く前に展望所に。「まわり縁」





があり、岩場をまわれるが濡れて滑りやすいので見るだけにした。大峯山三角点を確認し西大峯山へ縦走、登山道は歩きやすく整備されている。11時、車の鍵を交換し11時20分西大峯山山頂到着。木立の間から東に渡ノ瀬ダム、宮島。北西に冠山が垣間見え遠景を目追いながらのんびり昼食後12時05分地図を確認し大谷峠へ出発。境界柱を確認し下山するが小尾根に惑わされながら地図と磁石を屈指して尾根替えを余儀なくされたりでしながら境界柱やテープのルートに戻ったときはほっとする。20分下ると林道にでる。ここにも山アジサイの群落、境界線、ピンクのテープを見つけ下山するが、県道が見える方向に下山、小さい尾根の枝分かれで間違える。地図を確認後左の尾根にトラバース。右側に県道を見ながら進むと左側に藤井車を発見。13:08大谷峠着。道の両脇に廿日市の標識、佐伯区の標識がある。

今回の境界線歩きは時間の余裕があり、温泉ありでよかったが、下山途中、まむしに遭遇、怖かった。

大谷峠から

【参加者】

【コースタイム】 宮内串戸駅(8:00)→大谷峠P(9:15)→廿日市境界線登山口(9:35)→大峰山西峰 1,009.7m(10:40)→交差縦走鍵交換式(11:00)→峰太郎ぶな(11:34)→大峰山東峰 1,050m 昼食(11:45~12:15)→笹ヶ峠林道P(13:16)→湯の山温泉→宮内串戸駅(15:40)

前日までの警報・注意報が全て解除され、絶好のハイキング日和。私のVデビューを歓迎してくれているようで気分は上々。林道廿日市境界線よりいきなり藪こぎ入山する。

前日迄の雨で衣服はびしょ濡れ、ブッシュは容赦無く顔に当たり傷だらけ・・・を想定していたが、全て好転でとても歩きやすい。





樹林帯に入ると日光を浴びて輝く山紫陽花の群生が目に入り撮影タイム。人知れず静かに咲き終えた山野草を見ながら歩いていると、いつしか稜線へ到着。小休止後尾根を少し歩けば大峰山西峰へ着く、視界は良好で吉和冠山、寂地山、右谷山などの稜線を眺める。

アップダウンの尾根を快調に歩いていると前方より聞き覚えのある声が聞こえ、笹ヶ峠より登られたC.L.吉岡グループご一行様と出会い、厳粛なる『車の鍵交換式』と情報交換をし、我々は次の目的地大峰山東峰に向け出発。途中「峯太郎ぶな」の看板に魅せられて寄り道、大人3人でやっと抱えられる大木に元気を貰ってあと一息東峰へ……

天気良好の土曜日とあって東峰は満席状態、我々も、見晴らしの良い岩の上に座り西峰を彼方に見ながら照りつける日差しを浴びながらランチタイム。

下山はぐらぐら揺れるアルミ梯子と足が掛かりにくいロープと棒の不安定な梯子で始ま



り、食事で緩んだ気持ちが一気にひきしまる。下山の境界線取りつきは情報で聞いていた目印が見当たらず、地図とコンパス・スマホを駆使してブッシュに分け入るがなかなか境界線の杭が見当たらず、会長、藤井さんに頼りっぱなしになった（勉強不足を痛感）10分位下ると境界線の杭とテープがあり、安堵した。

東峰から笹ヶ峠コースは先日来の雨で足下が悪く時々キャー！ズズズー！……Tロさんの明るく豪快な声にV初参加の緊張感が和らぎ身体が軽くなったきがした。

笹ヶ峠近く迄下山すると山一面が山紫陽花の花畑、とても美しく山歩きのご褒美を頂き無事笹ヶ峠到着、帰りは湯の山温泉で汗を流しスッキリ美男・美女に変身し宮内串戸駅(15:40)到着。

私にとって「山は元気の源」であり、参加された皆様有難うございました。



■ 廿日市市境界線

- ・赤線が市境界線。
- ・青線が2016年7月までの踏破の軌跡。
- ・湯来冠山周辺、および十方山～市間山はこれからの課題です。できれば晩秋から積雪・残雪期に歩いてみたいと考えています。

ゆるハイク”始めました！

第1回 「簗山(たかむらやま)」と三景園

“ゆるハイク”とは、私自身の発想で名付けたハイキングの一分野です。それは、山登りと同等にその地域の風土・歴史・文化などの要素を取り入れた軽(ゆい⇒「ゆる」)ハイキングのことです。なお、一部の人には誠に残念ですが内容充実と突然死防止のためノンアルコールが前提です。(ノンアルのビールテイスト飲料はOKですよ…)

第1回目は、個人山行として現在工事中の「竹林寺本堂屋根葺き替え」と八千代池の「コウホネ」、そして近くの三景園の「アジサイ」を鑑賞しに「簗山」に行くことにしました。残念ながら「竹林寺本堂屋根葺き替え」は大工さんが休みとのことで見学することができませんでしたが、この季節に咲き乱れる花達を楽しむことができました。

今後は個人山行だけでなく自主山行という形でも様々な“ゆるハイク”を計画していきたいと思います。

【日時】6月15日(水)

【参加者】

【コースタイム】安達宅(9:00)→たかむらの里駐車場(10:10)→簗山駐車場(10:17)→姫路瀧(10:41)→仁王門下(11:18)～竹林寺参拝・周辺散策～鐘楼(12:05)→たかむらの里駐車場(12:45)～広島空港(昼食)～三景園(14:15～15:10)→安達宅(16:20)

9時にゆっくりと自宅を出発、グリーネン入野団地入口にある「たかむらの里」の駐車場①に10時過ぎに着いたが、ウィークデーのためかガラガラだった。初めてだったのでここに駐車したが、歩いて7分のところにある簗山の専用駐車場②(由来の説明版③あり)に駐車するのが正解だろう。



「簗山竹林寺古道」「天平の道」などの石碑のある竹林寺参道の入口には猪侵入防止柵④が設置してあり、扉を丁寧に開閉して登山を開始する。

「簗山」にゆかりの小野篁は平安時代の万葉歌人で小野小町の祖父とも言われており、当時の高級官僚(参議左大臣)で参道の傍らにはそのことを説明するような石像や石碑が建っていた。

また、参道には〇丁という石碑があり、登山道の雰囲気も極楽寺と似たような感じであ





る。しかし、この石碑は登り下りで二丁⑤、四丁、九丁の三つしか見つけることができなかった。

戦国時代、山城の姫君がすすぎものに通ったと言われる姫路瀧⑥を過ぎるとやっと山道らしくなる。コシアブラの木が散見され、松ヶ嶽城跡の分岐点を過ぎた平坦な道の脇で花の終わったチゴユリを見つけたことができた。

仁王門⑦をくぐるといよいよ小野篁の実母の名前を持つ八千代池だ。一度は観て見たいと思っていたコウホネはどこかな？オー咲いている！あっちにもこっちにもある。葉っぱに比べればとても小さい黄色の花だがそれで

も思っていたよりは大きかった。ヨシヨシ、ヨシヨシ…と感情の昂ぶりを抑えながら自己満足する。八千代池にはスイレンの花もたくさん咲いていたが、葉の間からちらほら見えるコウホネの黄色い小さい花⑧の方に感動した。

竹林寺本堂⑨は屋根の葺き替えのため工事用のブルーシートで囲われていた。屋根工事は見ることは出来なかったが、本堂の中へは入ることが出来たので本尊の千手観音に参拝、些少だが葺き替え工事への寄進をさせていただいた。

本堂西側の丘にある鐘楼からの眺めがよいとガイドブックには掲載されていたが、木々が繁ってあまり展望は良くなかった。しかし、釣鐘の下に地面に無数のアリジゴク⑩がスリバチ状の穴を開けていたのでこれはこれで見応えがあった。

なお、本堂北側の樹林帯の中にある522mの三角点は時間的余裕がなかったため、探すのを断念して下山することにした。屋根工事の見学に再訪できたらその時にでも探索してみたい。

広島空港に隣接する三景園は下山口から車で15分程度のところにある。空港ホテルの昼食は年金生活者にはとても高かったので広島空港3階のフードタウンでフライトを見ながらお好み焼きを食べた。

広島県の代表的な山・里・海の3つの風景を表現した三景園⑪は「花まつり」開催期間中で一般大人310円の入園料が65才以上は無料だったので助かった。親元の広島県に感謝！感謝！

花ショウブ⑫も満開で1万株といわれるアジサイ⑬が見ごろを迎えており、くもり空の中、花三昧の一日を過ごすことができた。雨を降らさなかったお天道様にこれも感謝！感謝！

里山ロングトレイルのすすめ

都市近郊の低山をつないで歩くことを「里山ロングトレイル」とします。基準は沿面距離15km以上、行動8時間以上、日帰り、公共交通機関の利用、エスケープが確保できる。植林と雑木林の多い道になりますが、机上の地図で道を探す楽しみ、自然や町並みとの意外な出会いが必ずあります。自分なりの「里山LT」を見つけ出しましょう！！不定期的にこれまで私が見つけた自慢？の里山LTルートを報告します。

第1回 八世以山～長者山～呉娑々宇山～岩滝山

- ・沿面距離＝26km・標高＝＋2170m、－2170m
- ・里山LTグレード〔試案〕：C
- ・交通機関＝JR瀬野駅、JR海田駅

2014年7月12日・単独・

〔コース・タイム〕8:21 瀬野駅→10:20 八世以山→11:15 榎ノ山峠→12:40 長者山→15:15 呉娑々宇山→17:25 岩滝山→18:00 海田駅

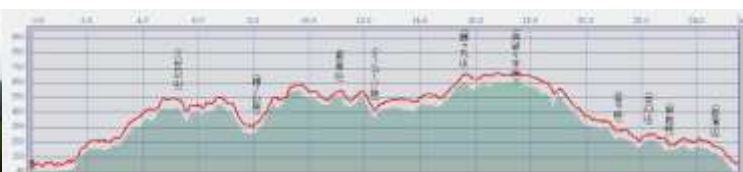


八世以山山頂へは瀬野駅からいくつかのルートがある。榎ノ山峠から長者山への登り口は雑草の茂る夏場はわかりにくいかもしれない。そこから長者山まで展望もなく単調な登り。ただ直射日光を遮る常緑樹のなかを歩くので凌ぎやすい。藤が丸山までくると長い登

りも終盤へ。呉娑々宇山からは下山途中で茶臼山の登りさえ頑張れば、あとは岩滝山頂まではドンドンと下れます。ルート全体に良く整備され、道しるべもあります。ただ分岐点で方向を間違わないように地図で確認のこと。

榎ノ山峠から長者山、ミノコージ峠から藤ヶ丸山までの登りが肉体的にも精神的にもガンバリどころ。長者山～藤が丸～呉娑々宇山までの稜線はときおり広い展望があります。振り返り歩いてきたもしくはこれから先の道程の長さに感嘆できるでしょう。

エスケープは長者山からみどり坂団地をこえて瀬野駅。藤が丸から馬木方面へ下りバス。海田を目指さず、呉娑々宇山から水分峠へ下るか高尾山へ脚を向けるのもいいです。ただし、夕刻に近い時間で下山してからの交通の便はあまり良くない。JR天神川までは遠い。



バリエーション通信

・岩トレ通信

日付	山域	CL	参加者	計
6月4日	土	天応		6
6月11日	土	中止		0
6月12日	日	中止		0
6月17日	金	天応		5
6月19日	日	中止		0
6月25日	土	中止		0
6月28日	火			4

6月は梅雨時期であり、予定通りには実施できず残念でした。



7月の予定

・定例岩トレ

- 7月 9日 場所：天応烏帽子岩山<劔岳チンネ最終トレ・打ち合わせ 含む>
- 7月 23日 場所：未確定 クライミング体験希望者他 歓迎
- 7月 30日 場所：未確定 クライミング体験希望者他 歓迎

・平日岩トレ★幹事CL土屋

- 7月 12日（火）セロトレ 14:00 現地集合（2～3時間）
- 7月 21日（木）天応トレ 天応墓場前 7:15 昼頃には終了予定
- 7月 29日（金）天応トレ 天応墓場前 7:15 昼頃には終了予定

